

経営比較分析表（令和3年度決算）

熊本県 山鹿市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.21	16.17	89.36	3,560

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
50,051	299.69	167.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,055	2.68	3,005.60

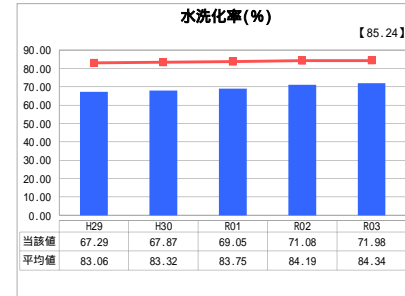
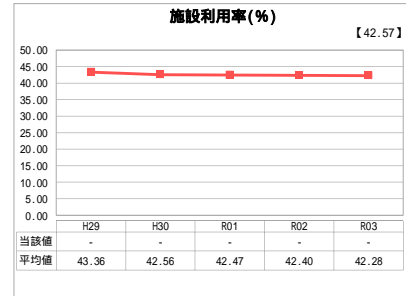
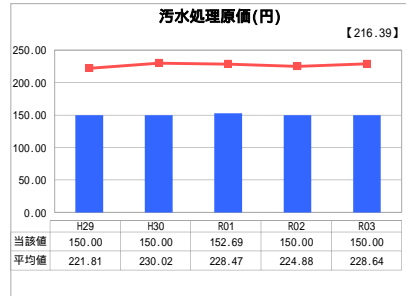
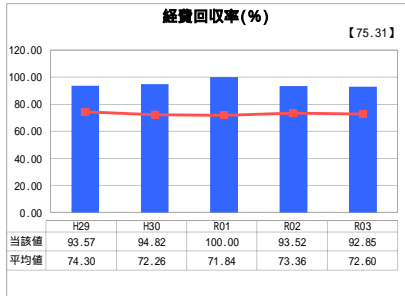
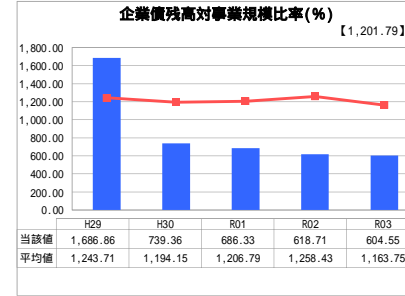
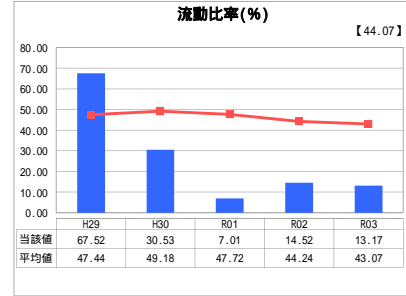
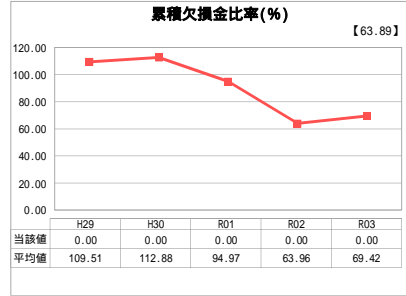
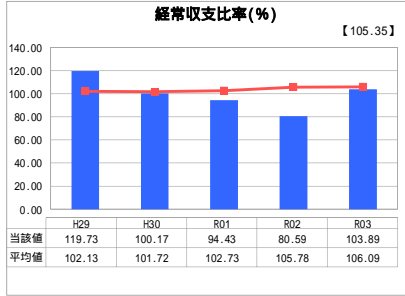
グラフ凡例

当該団体値(当該値)

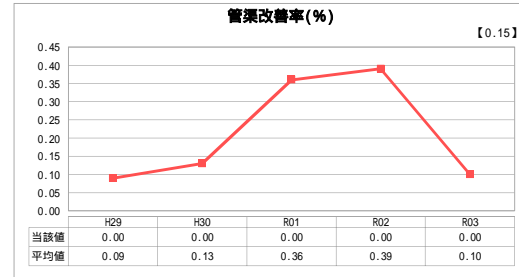
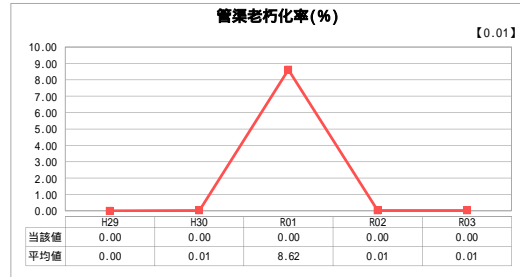
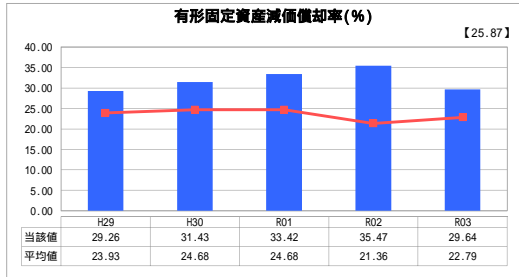
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率（収益で費用を賄っている状態）は、農業集落排水事業からの処理区移管に伴い若干改善したが、今後の人口減少や施設の更新等を踏まえ、維持管理費の削減等さらなる経営安定化を図る必要がある。

累積欠損金は無い。

流動比率（短期的な債務に対する支払能力）については、適正な基準・平均値を大きく下回っている。収支のバランスを考慮し、歳出削減に努めていく。

企業債残高対事業規模比率（使用料収入に対する企業債残高の割合）は、平均値より低い水準で推移しているが、今後、施設の老朽化に伴い更なる企業債発行が見込まれるため、計画的な更新及び企業債発行の適正管理に努める。

経費回収率（経費を使用料で賄っているかの指標）は、類似団体平均値と比較すると良好な水準であるが、公共下水道に接続しており処理施設を有しないためであり、今後も歳出抑制を図り、経営の健全化に努める。

汚水処理原価（汚水処理に要した費用）は、類似団体と比較すると低い水準で推移しているが、今後は人口減少に伴う使用水量の減少も見込まれるため、歳出抑制等の経営改善に努める。

施設利用率（1日に対応可能な処理能力に対する、1日平均処理水量の割合）は、公共下水道に接続しており処理場を有しないため算出できない。

水洗化率（汚水処理している人口の割合）は、平均値と比較し低い水準で推移しているが、高齢者世帯が多いため、対策が難しい状況である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、全国・類似団体平均値を上回り乖離しているため、ストックマネジメント計画により適正な維持管理に努めていく必要がある。

管渠の老朽化について、耐用年数を超えた管渠はなく塩ビ管が多いため問題発生は少ないと思われるが、公共下水道への接続にあたり、長距離で汚水を圧送しており、圧送管の一部に腐食等みられるため、今後も経過観察しつつ改善を行う。

全体総括

平成30年度に策定した経営戦略を基に、経営の安定化を図るべく計画的な維持管理、歳出削減、経営の効率化に努める。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。